



2014年1月30日

報道関係各位

株式会社インテック

第59回前島密賞、最高顧問中尾哲雄の受賞について

当社最高顧問の中尾哲雄は、公益財団法人 通信文化協会より第59回（平成25年度）の前島密賞を受賞することが決定いたしました。贈呈式は3月25日（火）に開かれますので、ご案内申し上げます。

記

1 前島密賞について

前島密賞は、わが国の通信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるために設けられたもので、情報通信事業（郵政事業を含む）および放送事業の進歩発展に著しい功績のあった方に贈呈されています。

同賞は昭和30年（1955年）に設けられ、本年度は第59回に当たります。今回の受賞者は、15件、25名（内15名は共同研究による受賞）・1団体です。

選考については毎年、当該年度の推薦機関から通信文化協会が受賞候補者の推薦を受け、選考委員会（委員11名で構成）の議を経て理事会で決定しています。

2 中尾哲雄の功績などについて

今回の中尾哲雄の前島密賞受賞は、以下の功績などに対し贈られるものです。

（功績）

社団法人テレコムサービス協会会長として、情報通信の高度化、インターネットの陰の部分への対応等の取組みに尽力し、我が国のインターネットの利用秩序の維持、情報通信の発展に大きく貢献した。また、日本インターネットドメイン名協議会会長として、日本語ドメインについて尽力した。さらに、電子商取引分野やデータセンター分野において先導的、先駆的な役割を果たすなど企業活動を通じて情報通信産業の発展に貢献した。

（職歴）

元 テレコムサービス協会会長

元 株式会社インテック代表取締役会長CEO

（表彰歴）

旭日中綬章（平成20年） 他4件

3 贈呈式

日時 平成26年3月25日(火) 午前11時00分～

場所 KKRホテル東京(千代田区大手町1-4-1)

◆ 公益財団法人 通信文化協会について

郵政博物館の運営、前島密賞の贈呈、通信文化の普及・発展等に関する事業を行い、もって我が国の手紙等文字コミュニケーション文化と情報通信・放送文化の向上に寄与することを目的とする。

◆ 株式会社インテックについて

お客さまの経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。特に、データセンター事業は、東京、横浜、大阪、富山などのデータセンターを高速回線で接続した高信頼性サービスを提供しています。2014年1月11日に創立50年を迎えたインテックは、産業と社会システムの高次化に資するユビキタスICTカンパニーとして、グローバルな視野で、次なる50年へと新たな挑戦を続けてまいります。 参考) インテックホームページ <http://www.intec.co.jp/>

◆ 添付資料

公益財団法人通信文化協会、本日15時発表の

「平成25年度 第59回 前島密賞 受賞者名簿」2ページ目

詳しくは <http://www.tsushinbunka.org/pdf/maejima/h25meibo.pdf>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテック 広報室 副室長 稲田恵子

TEL: 0764-444-8008

【前島密賞に関するお問い合わせ先】

通信文化協会 文化事業部

TEL: 03-5809-7148 安藤・松川・大貫

以上